

## 令和7年度飯田市下水道事業会計補正予算（第1号）案について

経営管理課

### 1 補正内容（債務負担行為の追加）

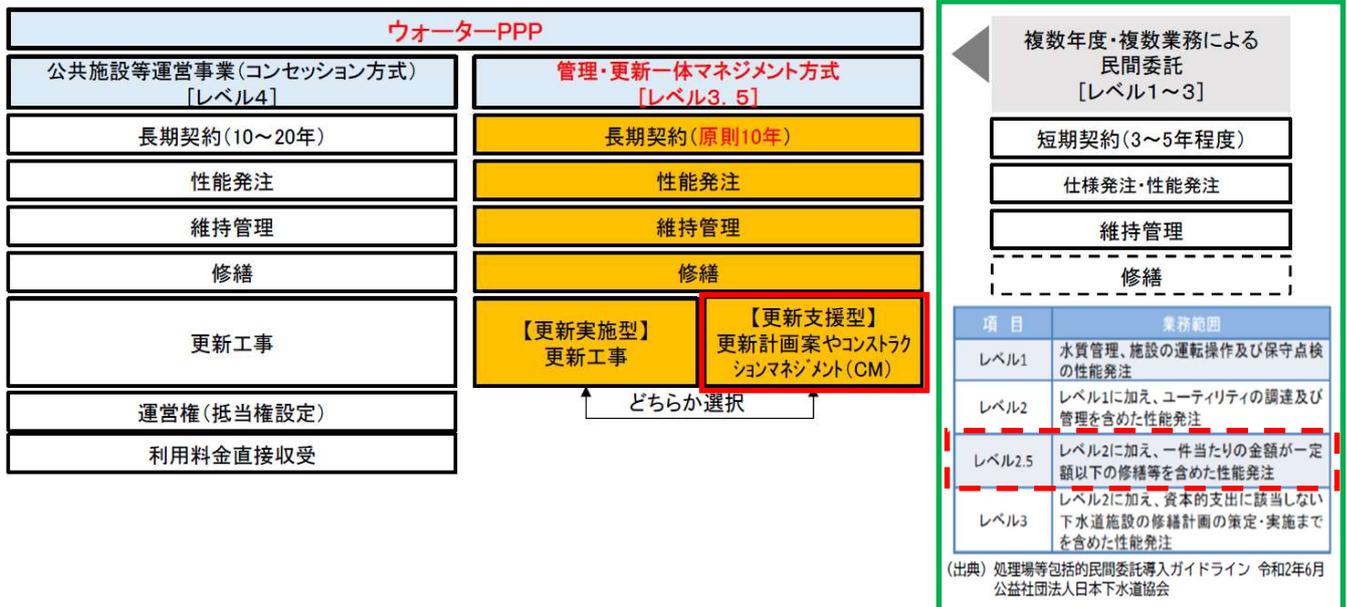
- (1) 事項 下水道処理施設包括的維持管理業務委託（ウォーターPPP）
- (2) 期間 令和7年～18年（委託料の支払期間は9～18年までの10年間）
- (3) 限度額 48億円（財源は下水道事業収益及び国県支出金）

### 2 ウォーターPPPについて

#### (1) 概要

- ・水分野における公共施設等の建設又は更新、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図る新たな事業体系（官民連携方式）
- ・国土交通省がガイドラインを作成し、地方公共団体への導入支援を推進している。
- ・ウォーターPPPの導入が令和9年度以降の污水管改築等に係る「社会資本整備総合交付金（国費）」の交付要件になっている。

#### 官民連携レベルとウォーターPPPの概要



#### (2) 導入検討の経過

- ・昨年度、当地域へのウォーターPPP導入の可能性について調査を行い、官民の役割分担や地元企業との共存等に留意するとともに、市民負担にも配慮しながら導入の可否及び最適な導入スキームを検討してきた。
- ・その結果、下水処理施設の安定的な運営を継続していくため、市内4箇所の浄化センター（松尾・川路・竜丘・和田）における運転管理業務や機器の点検整備のほかに、施設の更新計画

策定まで含めた包括的な維持管理業務としてウォーターPPPを導入することとし、令和7年3月の産業建設委員会協議会で報告を行った。

(3) 導入する事業方式

- ・管理・更新一体マネジメント方式〔レベル3.5〕（更新支援型）
- ・長期的な施設の維持管理（原則10年間・修繕等含む）と更新に関する業務（更新計画案作成）を一体的に行うもの（従前の契約期間は5年間）
- ・維持管理に伴う一定の要求水準を示し、業務の執行方法は民間事業者が自ら決定し責任を負う性能発注方式を採用

### 3 委託の概要

(1) 業務内容

- ・下水処理施設の運転業務（運転、操作、監視・水質試験）
- ・下水処理施設の保守点検業務（修繕・工事・環境整備・物品調達・庶務等）
- ・ストックマネジメント計画策定（レベル3.5の条件）

※これらを包括的に実施するため、要求水準書を作成し、公募型プロポーザル方式による業者選定を行う。

(2) 事業規模（限度額）：48億円

- ①従前の維持管理業務委託（運転・保守点検等） H28～R2実績 13.4億 R3～7実績 17.2億
  - ②これまで市が個別に発注していた緊急修繕工事等 R2～6平均 約31百万円／年
  - ③ストックマネジメント計画策定（5年ごと：2回分）
- ※①の内容に②③を加え、物価上昇分を反映させて限度額を設定

### 4 スケジュール

- R7. 4月～ 委託対象業務の精査・事業費の積算
- 7月上旬 実施方針(案)・要求水準書(案)の公表
- 10月上旬 実施方針の公表
- 11月上旬 募集要項等（公募型プロポーザル実施要領・要求水準書等）の公表
- R8. 1月上旬 参加申込書・参加資格審査書類の受付開始
- 5月上旬 技術提案書の提出受付
- 6月中旬 プロポーザル実施
- 8月上旬 優先交渉権者決定
- 10月下旬 契約締結（11月からの5か月間は引継期間）
- R9. 4月1日 ウォーターPPPによる維持管理業務開始（R19. 3月までの10年間）